



みんなで支えあう しあわせのまち 尾張旭

東栄社協だより

東栄校区社会福祉推進協議会
令和6年12月発行 第128号
責任者 長岡啓一

ふれあいウォーキング大会

恒例となったふれあいウォーキング大会を11月17日(日)森林公園植物園にて開催しました。例年より1週間程早かったため紅葉は今ひとつでしたが、汗ばむ程の好天の下80名余りの参加者がそれぞれの体調に合わせて、およそ1時間4kmのコースを楽しみながらゴールを目指しました。



今回は出発前にイノシシに出くわした際の注意事項を確認してからのスタートとなりました。コースを歩いていくとあちらこちらに「イノシシ注意」の札があり、地面を掘り起こした跡がありました。心地よい疲労を感じながらゴールし、お茶とおにぎりを受け取り解散となりました。近くのベンチでは一緒におにぎりをほおぼっているグループがありました。幸いイノシシに出くわすこともなく、大会を無事に終えることができました。

今大会では来賓としてお招きした市長さんと受付担当の東栄小ボランティアの皆さん、そして参加者の皆さんとのサプライズ記念撮影がありました。いい思い出となりました。

敬老ふれあいまつり



敬老の日を迎えた皆さま、おめでとうございます。今年も80歳以上の方を対象にお申し込みいただいた319人の方に、社協委員がお一人お一人のお元気な姿を拝見しながら手渡しで記念品(クオカード500円分)を贈りました。東栄小に何通かお礼のお手紙が届き、もらった子ども達も喜んでいました。これからもお元気で過ごして下さい。

(福祉部長 川上 可奈子)

『どんど焼き』のご案内

- 【日時】 令和7年1月13日(月・祝)
午前9時～午前10時30分(小雨決行) 点火予定 午前9時30分
供養物受付終了 午前10時
- 【場所】 東栄小学校校庭

◆お詫び◆

社協だより127号に掲載した、夏まつりのポスター金賞受賞者にもれがありました。
「4年 鬼頭ひよりさん」 訂正してお詫び申し上げます。

改めて防災について考えてみませんか

『輪島市支援活動』

～つなぐこと・つながること～

尾張旭市社会福祉協議会
地域福祉活動推進部門

係長 森島 一樹

尾張旭市社会福祉協議会(以下、本会)では、甚大な被害をもたらした能登半島地震が発生してから奥能登豪雨への対応も含め、輪島市に延べ11人56日間職員を派遣しました。現地では「被災されたかたの命をつなぐこと・命を守ること」を共通のテーマに様々な活動がおこなわれていますが、本会は、災害ボランティアセンターの運営支援はもちろんのこと、被災されたかたのお宅を訪問する見守り支えあい活動を行ってきました。平成28年の熊本地震では、地震により直接亡くなったかたが55人だったことに対し、災害関連死は218人で約4倍のかたが亡くなっていて、被災されたかたを見守る活動は災害ボランティア活動と同じく重要とされています。訪問活動は一軒一軒丁寧に、訪問できた数よりもどれだけ被災されたかたに寄り添えるかを意識しながら行い、体調や困りごと等の確認のほか、「地震が起こった時、とにかく小さいお孫さんをコタツの中に急いで潜り込ませ自分は頭だけ入れて早くとまれと祈ったこと」「裏山からパラパラと落ちてくる土砂を見て急いで逃げたこと」など発災当時のお話もお伺いしました。大変な状況の中でも笑顔で私たちの訪問を迎えてくれたかたがたのお顔は忘れられません。

このように能登半島地震が発生してから輪島市で活動を続けてきて学んだことは、自分の命を守るのは自助ですが、その命を守り続けるのは共助の力が必要だということです。輪島市の強さは、野菜をあげたり分け合ったり、世話をしたりしてもらったりが普通の生活にあり、被災される前から支え合う環境ができていたこと。普段から住民同士が当たり前のように助け合っていたことだと思います。地域のつながりが希薄になってきたと言われていたのですが、やはり「人と人がつながること」は大切に、何よりも大きな力になることを改めて実感しました。これからも皆さんと一緒に地域のつながりが強くなるような活動をしていき、災害に強い尾張旭市を目指してまいりますのでよろしくお願いいたします。



『避難所訓練、東栄小体育館に宿泊体験！』

東栄連合自治会
川村 竹治

東栄校区には、自治会長・町内会長・防災ボランティアからなる自主防災組織があります。平成23年の東日本大震災以後、自主防災組織は震災時の避難所開設に重点を置いて訓練を行っています。今年は訓練のレベルをあげて、避難所の東栄小学校体育館に災害用テントを張り、実際に宿泊してみました。9月21～22日、スタッフと一般を合わせて19名(1歳～70歳)が参加し、応急給水、災害用トイレ、発電機の稼働、非常食などの訓練を行いました。当日の最高気温は34.5度と高く、夜も非常に蒸し暑い日でした。また、(贅沢を言ってはいけないのですが)災害用の段ボールベットは固くて寝心地が悪く、明け方まで眠れない参加者が多くいました。わずか1日の宿泊でしたが、避難所の生活がどれほど大変なのかを痛感しました。今回の訓練では是非とも皆さんに知っていただきたいことは、現在、東栄小学校の体育館にはクーラーがありません。夏、体育館の室温は想像以上に高くなります。飲料水は絶対に欠かすことができません。是非とも非常時持ち出し品に、一人2～3リットルの水を準備しておいて下さい。



応急給水訓練



大釜による非常食準備

【耳寄りなニュース待ってます】

地域で行うイベント、地域のために頑張ってくれている人、注意喚起情報など地域の皆さんと共有したい記事を東栄社協だよりに掲載してみませんか。氏名、連絡先電話番号、載せたい記事の概要をFAXにて、藤池公民館までお寄せ下さい。後日こちらからご連絡させていただきます。

藤池公民館 《FAX》 52-0151